

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 7 年 3 月 11 日(2025.3.11)

【公開番号】特開 2023-135810(P2023-135810A)

【公開日】令和 5 年 9 月 29 日(2023.9.29)

【年通号数】公開公報(特許)2023-184

【出願番号】特願 2022-41090(P2022-41090)

【国際特許分類】

G 0 4 B 19/06(2006.01)

10

B 0 5 D 1/36(2006.01)

B 0 5 D 1/26(2006.01)

B 0 5 D 7/00(2006.01)

G 0 4 B 19/10(2006.01)

G 0 4 B 45/00(2006.01)

【F I】

G 0 4 B 19/06 M

B 0 5 D 1/36 Z

B 0 5 D 1/26 Z

B 0 5 D 7/00 K

20

G 0 4 B 19/10

G 0 4 B 45/00 V

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 3 月 3 日(2025.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

時計用部品の基材に第 1 模様を形成して下地とする下地形成工程と、  
前記基材の表面に透光性の樹脂を用いて第 1 透光層を形成する第 1 透光層形成工程と、  
前記第 1 透光層の表面に撥液処理を行う第 1 撥液処理工程と、  
前記撥液処理が行われた前記第 1 透光層の表面に、インクジェット方式でインクを吐出して前記第 1 模様に重ねて第 2 模様を印刷して第 1 印刷層を形成する第 1 印刷層形成工程と、

を備えることを特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項 2】

40

請求項 1 に記載の時計用部品の加飾方法において、

前記第 1 透光層形成工程は、前記透光性の樹脂をインクジェット方式で吐出して前記第 1 透光層を形成することを特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の時計用部品の加飾方法において、

前記第 1 印刷層の表面に透光性の樹脂を積層して第 2 透光層を形成する第 2 透光層形成工程をさらに備えることを特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の時計用部品の加飾方法において、

前記第 2 透光層の表面に撥液処理を行う第 2 撥液処理工程と、

50

前記撥液処理が行われた前記第 2 透光層の表面にインクジェット方式でインクを吐出して第 3 模様を印刷して第 2 印刷層を形成する第 2 印刷層形成工程と、  
をさらに備えることを特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の時計用部品の加飾方法において、  
前記第 1 透光層の透光性の樹脂は、アクリル樹脂またはエポキシ樹脂を含む樹脂であることを特徴とする時計用部品の加飾方法。

【請求項 6】

表面に第 1 模様が形成された基材と、  
前記基材の表面に透光性の樹脂により形成された第 1 透光層と、  
前記第 1 透光層の表面に形成された第 1 撥液層と、  
前記第 1 撥液層の表面に前記第 1 模様に重ねて形成され、インクジェット方式で吐出されたインクのドットにより第 2 模様が形成された第 1 印刷層と、  
を備えることを特徴とする時計用部品。 10

【請求項 7】

請求項 6 に記載の時計用部品において、  
前記インクは、銀ナノ微粒子インクであることを特徴とする時計用部品。

【請求項 8】

請求項 6 に記載の時計用部品において、  
前記インクは、透過性を有する酸化チタンインクであることを特徴とする時計用部品。 20

【請求項 9】

請求項 6 から請求項 8 のいずれか一項に記載の時計用部品において、  
前記インクのドットの間隔は、前記ドットの直径の 1 倍より大きく 3 倍より小さいことを特徴とする時計用部品。

【請求項 10】

請求項 6 から請求項 9 のいずれか一項に記載の時計用部品において、  
前記基材の前記第 1 模様は、前記基材の表面が加工されることで形成された凹凸であることを特徴とする時計用部品。

【請求項 11】

請求項 6 から請求項 10 のいずれか一項に記載の時計用部品において、  
前記第 1 撥液層が形成される前記第 1 透光層の表面には、親液処理が施されていることを特徴とする時計用部品。 30

【請求項 12】

請求項 6 から請求項 11 のいずれか一項に記載の時計用部品において、  
前記第 1 印刷層の表面に透光性の樹脂により形成した第 2 透光層をさらに備えることを特徴とする時計用部品。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の時計用部品において、  
前記第 2 透光層の表面に形成された第 2 撥液層と、  
前記第 2 撥液層の表面に形成され、インクジェット方式で吐出されたインクのドットにより第 3 模様が形成された第 2 印刷層と、  
をさらに備え、 40

前記基材の前記第 1 模様、前記第 1 印刷層の前記第 2 模様、および前記第 2 印刷層の前記第 3 模様は、互いに重なり合っていることを特徴とする時計用部品。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の時計用部品において、  
前記第 2 印刷層の表面には、透光性の樹脂が積層されていることを特徴とする時計用部品。

【請求項 15】

請求項 13 または請求項 14 に記載の時計用部品において、

前記第 2 撥液層が形成される前記第 2 透光層の表面には、親液処理が施されていることを特徴とする時計用部品。

【請求項 16】

請求項 6 から請求項 15 のいずれか一項に記載の時計用部品を備えることを特徴とする時計。

10

20

30

40

50